

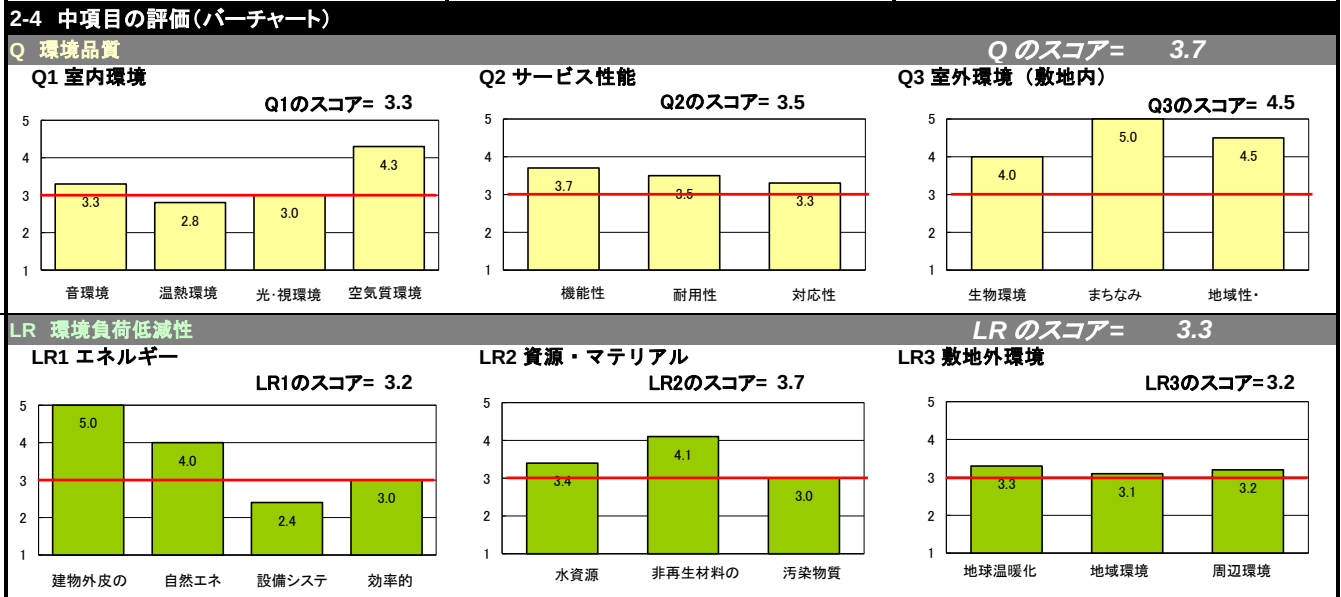
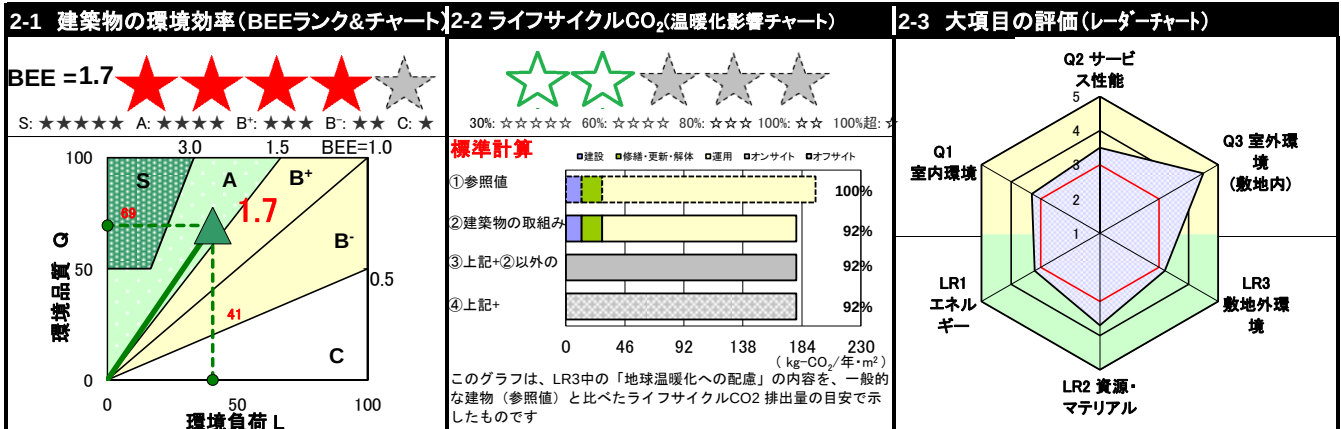
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	こども療育センター及び広島市児童	階数	地上6F
建設地	広島県広島市東区	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,053 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2018年5月18日
敷地面積	9,745 m ²	作成者	(株)東畑建築事務所 坂本裕樹
建築面積	6,543 m ²	確認日	
延床面積	21,973 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.5		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 3.8	スコア = 3.5
設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項
複層ガラスの採用、高断熱により外皮の熱負荷を抑制している。 / トップライト、ハイサイドライトにより自然光を導入している。 / 躯体と仕上げが容易に分別可能としている。 OAフロアや可動間仕切壁等のユニット部材を採用している。 / ライフサイクルCO ₂ 排出率を88%に抑えている。	外構、建物において緑化を行っている。 ビロティや庇、緑化等により日陰を形成している。 / 車場・駐輪場を利用しやすい位置に計画している。 管理用サービスヤードを一般車動線から分けて計画している。	重要度係数を1.25としている。 耐用年数20年以上の内装材を使用している。 / 専用のEPSを設置し、配線の更新・修繕に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される